

心不全患者に対する SGLT2 阻害薬 処方実態調査

1. 研究の対象

京都中部総合医療センターで、2020/11/27～2021/09/30 の期間に心不全に対してフォシーガ 10mg を内服している患者

2. 研究目的・方法

[目的]

糖尿病治療薬として用いられている SGLT2 阻害薬、フォシーガ錠 5mg、10mg(一般名:ダパグリフロジンプロピレングリコール水和物、以下、フォシーガ)は、標準治療を受けている慢性心不全(以下、心不全)に対する効能又は効果の追加承認を、2020 年 11 月 27 日厚生労働省より取得し急性・慢性心不全診療ガイドラインに追加された。しかしながら、心不全治療に対する実態報告数は少ない。

そこで本研究は、フォシーガ 10mg を処方され、心不全に対して用いている患者を対象にその背景を後方視的に調査する。

[方法]

性別、年齢、併用薬、LVEF、心不全による入院歴について電子カルテを用い後方視的に調査

3. 研究に用いる試料・情報の種類

性別、年齢、併用薬、LVEF、心不全による入院歴

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

京都中部総合医療センター 薬剤部

研究責任者：京都中部総合医療センター 薬剤部 調剤係長 荒井 久暢

京都中部総合医療センター 薬剤部 病棟業務課長補佐 山中 知恵子

-----以上